

Welcome to the 28th edition of the Machizukuri Voice.

2020-2021 Year in Review

First of all, I would like to thank you for your continued support of the Obuse Town Planning Committees over the past year. I know it hasn't been easy to participate and, most likely, it has been much more difficult than in past years. Although many activities were restricted or cancelled because of Covid-19 concerns, committees were still able to hold regular meetings for most of the year. I want to thank each chairperson for taking bold leadership in holding these vital meetings, which are so important in maintaining member relationships during these difficult times.

2021-2022 Year Goal

Special thanks goes to those who helped make this year's May 13th general members' meeting possible. It had been two years since the last meeting, so it was an important opportunity to meet face-to-face to review activities from past years, and to discuss future plans.

it is important for us to find ways to not only maintain the Machizukuri community, but to expand it to include those not currently represented. We will continue to reach members through the Machizukuri Voice and through online communications. I am excited about the soon-to-come Machizukuri website, which will help members, no matter where they are in the world, access town information and connect with fellow members. I hope we can expand our network with other kinds of social media as well. It is more important now than ever for us to continue to support the Machizukuri organization and to maintain an open and welcoming environment for Obuse's people to exchange ideas, and to continue planning for a bright future together.

David Hylton



まちづくりボイス
第28号へようこそ
デイビッド・ヒルトン

おぶせ
MACHI
ZUKURI
VOICE
ボイス

2008(平成20)年12月18日創刊
◎小布施まちづくり委員会

発行:小布施まちづくり委員会
会長:デイビッド・ヒルトン
事務局:小布施町役場企画財政課
企画交流係
編集:小布施まちづくり委員会
広報委員会

2020年度の活動に感謝

小布施町まちづくり委員会
の活動に町民の皆さんからご
支援賜り感謝申し上げます。
新型コロナウイルス感染拡大
の懸念により、多くの活動や
イベントが制限やキャンセルさ
れ、会の運営が困難な一年で
した。
しかし、各部会は工夫しな

2021年度の活動に向けて

大の影響から昨年度は中止と
したが、各部会は工夫しな
ら一年間定期的な会議を継
続してくれました。リーダー
シップを発揮し、まちづくり
委員会の活動を支えてくれた
各部会と町民の皆さんに感謝
します。

なった全体会が、多くの皆さ
んのご支援により2年ぶりに
5月13日に開催することができ
ました。多くの委員が参加し
た対面での話し合いは重要な
機会となりました。

小布施まちづくり委員会の
活動を維持するだけでなくコ
ロナ終息後を見据えた活動を
検討していきます。今年度も
まちづくりボイスや、オンラ
インによるコミュニケーション
を通じて町民の皆さんとの
交流を図っていきます。世界
のどこにいても、町の情報に
アクセスしたり、仲間とつな
がることのできる「まちづく
り委員会のサイト」も準備
し、他のソーシャルメディア
でもネットワークを広げてい
きたいと思えます。小布施町
の皆さんがまちづくりを通し
てオープンに意見交換できる
居心地の良い環境をこれまで
以上に維持していきます。
一緒に明るい未来に向けて
進んでいきましょう。

5部会で
スタート

今年度の事業計画

安全を考える部会

- ・青色防犯パトロール
- ・おぶせ住民防災講座の開催
- ・防災情報マップ作り

環境を考える部会

- ・小学校4年生向け土作り
- ・小布施丸なす栽培、食育講座の開催
- ・食育映画上映会 大林ちぐみ監督
を囲んだ座談会開催(共育部会と共催)

交流を考える部会

- ・青春のつばやき(伝言板)の運営
- ・おもちつき大会
- ・多文化交流

共育を考える部会

- ・第9回 おぶせ未来会議開催
- ・脳の発達 小冊子プロジェクト
普及活動
- ・食育映画上映会 大林ちぐみ監督
を囲んだ座談会開催(環境部会と共催)
- ・おぶせ口頭詩の募集
- ・幼児教育 研究事業
- ・信州幼児教育支援センターと連携
「きつねのしっぽ」実技研修

福祉を考える部会

- ・おぶせ版「自分史・未来日記」の
印刷及び製本作業
- ・「自分史・未来日記」の活用方法
の検討及び周知活動

議員のなり手不足を考える部会報告

部会長 市川博之

町議会議員のなり手不足は町民全体の課題であり、町民が広く論議できる場を作ろうと昨年度「議員のなり手不足を考える部会」を編成しました。

6回の部会等を経てまとめた検討結果（提案書）を、町議会議長に届け活動を終えました。若い人や女性が議員に立候補できることを目標とした検討結果について町民の皆様にご報告いたします。

【部会活動】

- 第1回…議会選挙制度（公職選挙法）について
- 第2回…議会の現況について
- 第3回…町議会議員さんとの懇談会
- 第4回…町代表監査委員さんとの懇談会
- 第5回…提案書について（作成とまちづくり委員からの意見とりまとめ）
- 第6回…町民との意見交換会

【提案書の概要】

《提案1》 実績に伴う議会編成（議会予算を現状のままとしながら議員定数を増やし、多くの意見を議会に反映させる議会編成）

- ・多くの町民の意見を反映させるため定数は20〜30名
 - ・各委員会、議会出席に応じて基本手当を支給
 - ・議長、副議長、委員長等役職手当の支給
 - ・本議会出席議員の選定や一般質問は議会内で決定
 - ・本議会への委任状提出を可能としたり、一般質問を議会内で事前に決定（調整）
 - ・することで若い人が別の仕事をしながら町議会議員に挑戦
- 《提案2》 町議会議員を補佐する理事協議会の設置（町民の各世代から幅広く代表を選び広く町政に意見を反映させることで持続可能な小布施町を創る）



青春のつばやき

私たち交流部会では今年3月から役場2階食堂の隣の壁に「青春のつばやき」あおはるシェアしない？」という伝言板を設置しました。現在、電子機器が普及する中、あえてアナログでの交流を楽しんでいただけたらと思います。設置しました。

- ・年齢により理事の人数を配分（配分例）20〜30歳1〜3名、31〜40歳2〜4名、41〜50歳2〜4名、51〜60歳5〜7名、61〜70歳5〜7名、71歳以上5名以上
- ・理事全体選挙を開催、欠員

- ・については選ばれた理事等が人材を推薦し決定
- ・任期は2〜4年
- ・各世代に最低1名は女性を置く
- ・協議会理事の定員は20〜30名

やいたことに対しての返信がきていることもあります。これからもこの伝言板を通してたくさん交流している様子を見守っていただけると良いと思います。もし気になる方はお気軽につばやきにきてください！



私のまちづくり委員会 部員リレー

小倉 繭さん

まちづくり委員会の基本概念は補完性の原理です。これは、地方自治の決定や施策はより身近な単位で行われるべきというもので、古くはアリストテレス、キリスト教会からの個人の尊厳を大事にする考えからきたもので、欧米ではこれに関してプロトコルが出されています。首長や他の長からの推薦の行政特別職（教育委員等）とは異なり、奉仕的な会かつ行政への提言もできる会で、町政のガス抜きといわれないうちに活動をしています。People make Obuse

編集後記

コロナでばかりでできた時間、思い立って古い手紙の整理に取り掛かりました。変色して紙魚の付いた封筒には、懐かしい人たちの顔が浮かぶ筆跡。何通か読み返してみても、今の電子メディアとは異なる、感覚が湧きました。より速く、高く、遠く、便利ではない古い手紙に、元気づけられた心地です。流れが滞りがちなこの状況は、みんなで知恵を絞って、考えるための時間を与えられたとも言えます。少しずつでもより良い未来へ進めてゆきたいと思えます。（市村良江）